住宅の気密性能試験結果 (1)

/ / +== + /	会社名又	は氏名	電話	
似 顆百	住	所		

		測定対象建物の概要					
建物の名称							
 所在地							
竣工	年月日						
構造及び工法							
	地階床面積	m²					
7=+ 14	1階床面積	m²					
建物の 規 模	2階床面積	m²					
/	3階床面積	m²					
	延べ床面積	m^2 ·····(A)					
開口部の仕様		窓 単層(引き違い、外開き、内開き)、2重窓(引き違い、外開き、内開き)、 その他(構成と開閉方式:)					
		玄関戸 引き戸、外開き戸、内開き戸、その他()					
主な部位の気密層の		防湿フィルム(気密テープ:使用・不使用)、内装材、断熱材、					
仕様		構造材(コンクリートなど)、その他()					
建物概要図		別紙添付図面の通り。					
通気量を測定した位置		添付平面図に示す。					

	測定	「時の建物条件		
	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理方法)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ		
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態		
3	郵便受け	普通に閉めた状態		
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態		
5	基礎と床の両方を断熱している 地下得へ通じるドア	普通に閉めた状態		
6	換気レジスター	シャッター閉又は目張り		
7	台所レンジファン	シャッター閉又は目張り		
8	換気扇•天井扇	シャッター閉又は目張り		
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉又は目張り		
10	屋外に通じる排水管	封水又は管口を目張り		
11	集中換気システムの吸排気ダクト の屋外側出入口	テープ処理又は目張り		
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態		

測定対象外にした部分(空間)の名称	
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積	m^2 ·····(B)
吹抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積	$m^2 \cdots (C)$
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)	S=(A) - (B) + (C) =
測定対象とした建物の外皮内容積	Vt= m³ (漏気回数を求めるときに記入のこと)

注)確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

住宅の気密性能試験結果 (2)

	測定者・測定方法・消	則定装置		
事業所名	株式会社ヒールアース	事業所到	登録番号	1671
測定者名		測定者發	登録番号	
所在地	埼玉県川口市安行藤八254		電話	048-229-0737
測定方法	JIS A 2201 (送風機による住宅 流量及び圧力の測定は、あらか			
測定装置	KONA sapporo 製			

試験日時	年	月	月	時	分	\sim	時	分まで
	天候			風速			m/s	(参考)*
 測定時の環境	室内温度		$^{\circ}\! \mathbb{C}$	風向(主風)	句)			(参考)*
例た时の泉境	外気温度		$^{\circ}\! \mathbb{C}$	風速測定位	置			(参考)*
				気圧			hPa	(参考)*

測定点	1	2	3	4	5	6	7
圧力差:∠P(Pa)							
通気量:Q(m³/h)							

隙間特性値 :n (1≦n≦2)	n=	
通気率 (⊿P=1Pa時の通気量):a	a=	m³/h•Pa∜n
∠P=9.8Paにおける通気量: Q9.8	$Q_{9.8} =$	m³/h
係数:b	b=0.627 ρ ½=	
総相当隙間面積 :αA(cm²)	$\alpha A = Q_{9.8} \times b =$	cm²
相当隙間面積 :C(cm²·/m²)	$C = \alpha A/S =$	cm²/m³
参考:50Pa時の漏気回数:ACH(回/h)	ACH=	回/h(∠P=50Pa時の通気量 m³/h)

測定結果添付欄

^{*(}参考)データがある場合は記入する。